

平家終焉の悲哀を今に伝える上臈参拝
海峡の潮流が繋いだ、たおやめ芸の伝承



当日の朝5時から始まる実演。水れしろいをつけ、目の輪郭を塗り、紅をさす。一番から四番までの太夫と違い、希望太夫の化粧は目元を強調し、きりっと大人びた雰囲気仕上げるという。

下関で生まれ育った「関っ子」によって受け継がれてきた伝統行事のひとつが、毎年5月3日に行なわれる先帝祭の上臈参拝である。

遙か遠い昔の平家物語の悲話が途絶えることなく今も生き、憧憬の的となった芸道の神髄を、祭りにかかわる人々を通して探る。

取材・文 三軒村ゆき
撮影 堀野浩二

NIPPON TRAVEL AGENCY



日本旅行は、
あふれる感性とみなぎる情熱を持って、
魅力ある旅の創造とあたたかいサービスに努め、
お客様に愛され、未来を拓くアクティブカンパニーを目指し、
豊かな生活と文化の向上に貢献します。

<http://www.nta.co.jp/>